第 211 回　障害者地域生活支援研究会

「コミュニケーション」について part.2
～対話について考えてみよう～

大寒の暦通り、寒さ厳しい平成 28 年 1 月 21 日（木）に第 211 回支援研究会が開催されました。今日のテーマは『「コミュニケーション」について part 2～対話について考えてみよう～』です。昨年 8 月に“コミュニケーション”をテーマに交流分析についての支援研究会を開催致しましたが、今回は講義形式ではなく、支援研究会として初の**ワールドカフェ*1**形式で開催されました。

***1～ワールドカフェとは？～**

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法です。

***2～トーキング・オブジェクト（TO）とは？～**

それを持っている人が話す、持っていない人はしっかり話を聴く、という役割をはっきりさせてくれます。また、話が続くたびに TO も人から人へまわっていくので、一人ひとりの話を大切に扱い、繋げていくことの意味を感じさせてくれるものでもあります。

《参考URL》 WORLD CAFÉ.net
http://world-cafe.net/index.html

障害に関することだけではなく、みなさんが日々感じているであろう「コミュニケーションに関する困ったこと」「うまくいったこと」「どんな工夫をしていったらいいか」等々について、答えを出すのではなく、オープンで自由な意見交換と、新しい発想やアイデアをつなぎながら、テーマを深めていく場となりました。

4 名から 5 名のグループを 3 つ作り、自己紹介をして、グループ移動する人、しない人を決めてスタートです。

今回、事務局から用意した問いかけ（グループテーマ）は 4 つ。3 つまではグループで、4 つ目はまとめにかえて、個人で考えて頂きました。

①『これまで あなたが体験した心地よい対話には どのようなものがありますか？』
②『なぜ　「心地よい」と感じたのでしょうか？』
③『心地よい対話に　必要なことは？』
まとめ『あなたは これから　対話がうまくいくように どんなことを心がけますか？』

テーマが大きくそれなければ、何でも OK。最初は“何でも”が難しい様子の方もいらっしゃいましたが、**トーキングオブジェクト（TO）*2**（小物）をバトン代わりにまわして、発言をしたり、聴き手はそれぞれ感じたことや気付いたことを、これまた自由に**えんたくん*3**の上の模造紙に書き込んだり…。終始自由な雰囲気で行われました。

***3えんたくん**は、丸い形の段ボールだよ。参加者の膝の上に載せてテーブルに見立て、その上に模造紙を広げて、自由に書き込んでいくんだよ。楽しそう♪♪

最初のテーマでは体験からその時の「感情を思い返し」、そして「それはなぜか考え」、次に「必要なこと・自分の価値観へ…」と段階的にテーマを深めていきました。

8 月の Part 1 での“「今ここ」での自分に気づく”“自己理解”“気づき”に続いて、今回は交流分析のひとつのジャンル“時間の構造化”を取り上げ、対話の持つ意味や大切さについて振り返り、最後には今日の気づきや今後の目標を各自で考え、持ち帰って頂きました。

支援研究会での初めてのワールドカフェ。初めて話す相手。初めてづくしの方もいて、最初は戸惑っていたかもしれませんが、少人数で、気楽な雰囲気の中、それぞれのグループで話しが弾んでいた様子でした。時間を共有して“心地よい対話”ができた今回の支援研究会になったのではないかと感じました。

心地よい対話とは？
みんなの書き込みをピックアップ！

- アレ・コレ・ソレで通じる対話。
- 一人旅での知らない人との、無責任（？）な対話
- 心の笑顔。心地よさは言葉だけではない！
- 子どもやお年寄りとの会話。テンポが心地よい。
- 同じ境遇で同じ悩みの共有できる対話。etc

本日の参加者は 19 名。新規の方は 2 名でした。ありがとうございました。

今回の司会進行は支援研究会事務局　北九州市障害者基幹相談支援センター　石丸　美穂が務めました。

けんたクン

※こちらの議事録は
北九州市障害者自立支援協議会の
ホームページでもご覧いただけます。
http://kitakyushu-net.shien-c.com/

しえんチャン